

玉樹だより

2012 年 10 月 22 号

平成 24 年 9 月 17 日 (月)

敬老会が行われました。長寿の表彰や担当職員からお祝いの品を贈呈したあとは、陽気に SHOW タイム！
内容の濃い盛りだくさんの敬老会になりました。

敬老の日



八千代町阿波踊り愛好会の皆様



おめでとうございます



来年 3 月で満 100 歳を迎える秋藤せい様。七夕の短冊に「100 歳まで生きる」と書かれてから数年・・・皆で祝える日を迎えました。当日は家族様も駆けつけてくださり、とても嬉しそうに微笑む姿を見ることができました。

これからも元気で過ごせるようにお手伝いさせていただきたいと思います。

秋の日帰りバスツアー



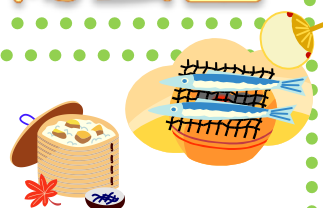
平成 24 年 10 月 26 日（金）

特養の入居者様を対象とした、秋の日帰りバスツアー「東武動物公園」に行ってきました。これ以上ないほどの晴天に恵まれ、広い園内を散策。楽しいツアーになりました。



東武動物公園

恒例！秋の味覚



平成 24 年 10 月 17 日（水）

秋の恒例行事「サンマ祭り」が行われました。さんま 2 匹、栗ごはんまでおかわりされた方も・・・。

「サンマ祭り」♪

デイサービスのお昼もサンマ定食。こちらでも焼き立てサンマは好評で、昼からビールで乾杯～♪



平成 24 年 8 月 27 日（月）

「お多福尺八の会」さまが来所されました。定期的に尺八を披露しに来て下さっており、今回もいつものように進行から演奏まで行っていただきました。

ありがとうございました。



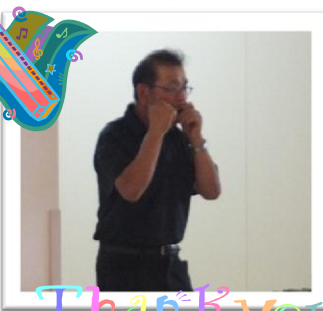
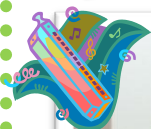
ボランティア

ありがとうございました

平成 24 年 9 月 19 日（水）

ハーモニカ演奏にボランティアで小林勝さまが来所されました。数種類のハーモニカを使い分けての懐かしいメロディー。一緒に口ずさむ方、思い出に浸る方・・・皆さん思い思いに楽しんでいらっしゃいました。

ありがとうございました。



Thank you



「介護の日」写真展に入賞しました！

茨城県社会福協議会主催の「介護の日」写真展に玉樹の応募作品が入賞しました。下記の日程で展示されることになりましたので、近くまでお出かけの際にはぜひご覧になってみてください。

◎茨城空港（小美玉市） 2階 県民PRコーナー◎

平成24年11月4日～11月9日 10：30～15：30

◎イーアスつくば（つくば市） 2階センターコート付近◎

平成24年11月3日～11月11日 10：30～15：30



最優秀賞 「十年ぶりの差し苗、やったど！」

中村三紀（施設ケアマネジャー相談員）

職員宅で田植えを行う日に見学に行った大山様。もともと農家として暮らしていたこともあり、見ているうちにやる気がムクムク。「よし、やるか！」と差し苗のお手伝いをされた際の1枚です。

人事異動のお知らせ

平成24年10月1日付けで人事異動がありましたのでお知らせいたします。



しまだ えいこ
島田 栄子

なでしこ荘
↓
あじさい荘

来所される皆様へ

感染症の増える季節になりました。面会時等、施設内に入られるすべての方に、**うがいと手洗い**をしてから入って頂いています。お年寄りと皆様を守るために、ご協力お願いいたします。

また、体調が優れない際の面会は見合わせていただけますようお願い申し上げます。

ご協力お願いします

スッキリ大作戦！任務遂行中！

排泄をメインに据えた取り組みも前半が終わり、折り返し地点が過ぎました。前回、すべての職員が正しく目的を理解しているか、やるべきことに対しての認識が共通しているかどうかがとても大切だということを感じました。

どうしたら意識が薄れることなく継続できるかも同時に取り組み事項となりました。

ひとりひとりの入居者様に対し、“目指すゴール・必要水分量・排便頻度・排便時間・下剤使用実績”などのチェック表を作成。



それを基にして 1 ヶ月単位で「やるべきこと・その結果や効果」を出し、毎月振り返りを行う。



データとして目に見える形にしたことで思い込みがなくなり、ケアする職員が進捗状況に対し明確に説明できるように。



併せて、意識の統一を図るために 2 ヶ月に 1 回、基礎知識の確認のために勉強会を開きました。

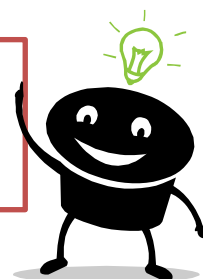
トイレに座る姿勢は正しい？
パンツの素材は適している？
パッドの構造ってどうなの？



睡眠のメカニズムについて
オムツかぶれの原因について
便秘の原因について
身体の仕組みについて

＜4 月に取り組みを始めてから半年を振り返り、その成果＞

- ① 刺激性下剤の使用がゼロに。緩下剤や他の方法で十分に排便コントロールが可能になった。
- ② “夜だけはオムツ”の方が半年で半分に。快適＝快便！



そして現在。新たに試したパッドのサイズを導入するにあたって、使うパッドの根拠をしっかりと持つことがこれからの課題の一つとして挙げられました。

「安心だから大きいパッド」を使うのではなく、本人の希望や快適に過ごせるかなど必要性を考慮して選んでいく・・・そのためにニーズに合ったパッド導入をしていく予定です。

残すところあと半期。それぞれの「スッキリ！」を目指していきたいと思います。



すいせん版 スッキリ大作戦！

特養で行っている排泄の取り組み。スッキリ排泄したいのは、普段は在宅で暮らす利用者様も一緒。オムツによる皮膚トラブルが少なくなれば在宅介護の際に必ず介護者の助けになるはず。ショートステイのすいせん荘でも出来る枠の中で同じように取り組んでみました。

A 様の場合

下剤を毎日服用しているが
4～5 日便秘が日常
便が出始めるとオムツの中は
常に便がある状態

B 様の場合

「おしっこが出た」
と教えてくれていた
が、「オムツだから・・・」と
あきらめの気持ちが



まずはトイレに座ってみることができないかな・・・



毎日昼食後にトイレに座ってみることに

2 人介助でならトイレに座れる！



介助法を見直して 1 人介助でも可能に

下剤はほぼ飲まず、自然排便になった！



日中はトイレで排泄ができた！

お二人とも経緯は違いますが大きな収穫になりました。特に B 様の場合、これまでは食後すぐに横になっていたのが、起きている時間が増えました。“プライド”と“意欲”が戻ってきたようにご自分からの訴えが増え、笑顔も多くなりました。

すいせん荘では、今後も本人様や家族様と相談しながら少しでもその方の気持ちや生活がプラスの方向に向かうよう、そして在宅介護での手助けになるよう、取り組んでいきたいと思ひます。

ホッと



癒やします

入浴後や足のむくみ解消、眠れない夜や気持ちが落ち込んだ時・・・お話ししながらゆっくりと手足をマッサージ。3 種類の香りから選んでいただけるようになりました。



デイサービスセンター玉樹では、塗り絵、折り紙、ペーパーブロックなどの工作レクがあります。新しいラインナップとして「絵手紙」を加えるべく、スタッフ2名が八千代町公民館の絵手紙講座に通い始めました。



デイ玉樹

新しいレクリエーションに最初は「難しいよ～」と尻込みされていた利用者様も多かったのですが、野菜や花を見本にし、まずは輪郭を描いてみよう・・・少し色を付けてみよう・・・とお誘いすると、徐々に素敵な作品に・・・(^ ^)



ただ今

その他にも八千代町秋祭りの作品展に向けてこんな作品づくりも進行中です。



芸術の秋です♪

画用紙を丸めて形をつくる“クイリング”や使い終わったカレンダーを利用した立体的な折鶴など、例年よりも大作が揃う予定です。出来上がりは是非、八千代町秋祭りでご覧ください！

人事異動のお知らせ

10月1日付けで3階さくら荘から
デイサービスに異動になりました。

はた まさこ
端 昌子 です





じゃげむ版「いい旅・夢気分」

じゃげむで大切にしているリラックスタイム“お風呂”。清潔保持の役割もちろんですが、元々入浴そのものが好きではない方、認知症のために入浴するということを受け入れられずにいる方も少なくないのが現状です。

そんな場合でもタイミングよく入浴ができ、リフレッシュしたことでお風呂の良さを再認識される方もいらっしゃいます。また、お身体の状態により旅行や外出が難しくなっている方には、少しでもお出かけ気分を味わっていただけたら嬉しい・・・。

和をテーマに「リラックス+楽しめる」空間にすることを決めました。

じゃげむ入浴スターのご紹介



入浴にかけるアツい想いを語る！

私にとって入浴とは相手の事を知る空間です。一対一という二人きりの時間を満喫して行きたいと思います。



befor

after



★じゃげむ職員データ★

みやた りえ
氏名 宮田 理恵

性格 真面目

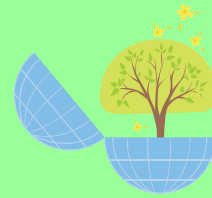
好物 オシャレ



殺風景だった脱衣室は旅館のようにチェンジ。浴室には富士山の絵と目に付きやすい箇所を自然素材で飾りました。



嬉しい変化がありました。前述のとおり、お風呂は拒否されていた利用者様がすんなり入浴を承諾され、浴室に貼った大きな富士山を見て「富士山か～、いいな～」とつぶやき。足の痛みを置いて自ら浴槽内で動き、眺める姿も。次の利用日からは午前中のうちから「風呂はまだか～？」とありがたいお言葉。温泉気分を雰囲気だけでも味わえる空間・・・少し近づけたかな・・・と思います。



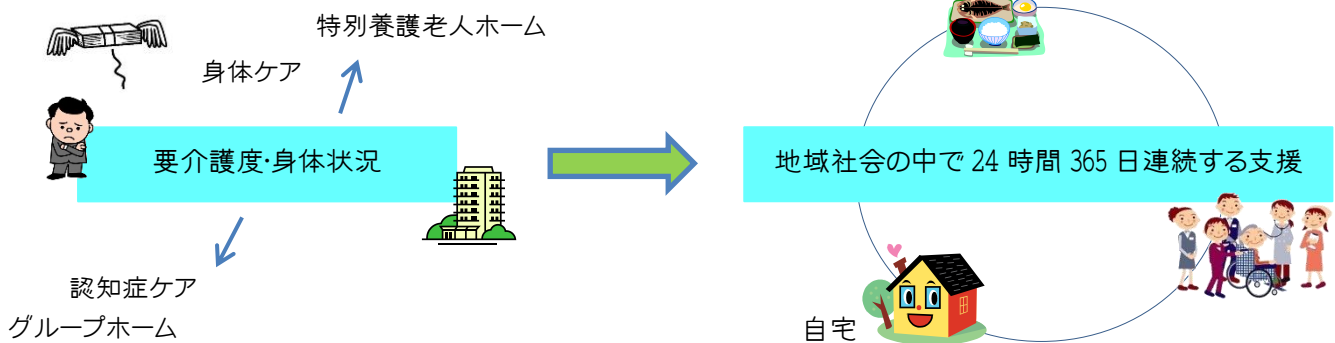
～地域包括ケアの実現に向けて～

在宅で介護を受けている方、介護している方にとって同居家族の高齢化や就労困難、また施設と在宅での介護にかかる費用負担の格差も、住み慣れた自宅で生活続ける事を困難にする要因となっています。

今回、出来る限り暮らし慣れた地域社会の中で高齢者と介護者、地域社会の負担を減らした上で、その人らしい暮らしを支えるケアを展開されている、新潟県長岡市の「高齢者総合ケアセンターこぶし園」総合施設長の小山剛さんが講師として招かれた勉強会に参加してきました。

今までのケアは人でなく介護が中心

これからのケアは人の生活・人生・暮らしが中心



こぶし園さんでは数種類の「サポートセンター」というものを展開されており、在宅で 24 時間体制 365 日連続して、保健医療・福祉サービスや 3 食の配食サービスを受けることが可能となっています。

将来的に八千代町周辺の地域でも同様のシステムが構築され、暮らし慣れた地域社会の中で人生の最期を迎えることが当たり前になれば・・・在宅ケアに携わる者として、今私たちに出来る事が何なのか？大きな課題として考えていきたい勉強会でした。

ホッとスペースを作りました

平成 24 年度の満足度調査を 9 月に実施しました。回答率 71.6%、沢山のご協力ありがとうございました。これからも利用者様、家族様に満足して頂けるように取り組んでまいります。



居宅事務所隣に利用者様とゆっくり話ができる空間を作り始めました。皆さんがより相談しやすい環境作りを心がけていきたいと思っています。

◆たのしくまいにちきぼうをもって◆

編集後記 10 月半ばから一気に寒さが増し、あわてて衣替えをしました。風邪やインフルエンザも流行ってきますので“冷えない”ように気を付けようと思います (^o^)/

◆発行◆

社会福祉法人 純会



TEL0296-49-3886

FAX0296-49-2987

<http://www.tamaki.or.jp>